



夕刊

発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

紙づて

冬から早春は多くのラン
が出まわる季節。園芸農家
が丹精込めて育てたラン
は、見事な花を咲かせてい
る。色、模様、形、質感。
花の圧倒的な存在感は人々
を魅了する。

ランは、昆虫に受粉を助
けてもらって子孫を残す
「虫媒花」。すごいのは特定
の昆虫だけに受粉の助けを
してもらい、その昆虫好み
の色や形に近づくように花
を進化させたことだ。その結
果、多種多様な花が生まれ、ラン
は最も進化した植物になった。
ランの「生き残り戦略」には
驚かされるが「極めつき」はパ
フィオペディラム、通称パフィ
オという種類。パフィオの花に
は袋がある。

「お目当て」の昆虫が袋の中に
落ちると、ふちが正倉院の「ネ
ズミ返し」のようになっ
ていて簡単には外に出られな
い。昆虫は「ネズミ返し」
を避けて出口を探すために
動き回り、必ず花粉が体に
付く場所を通る仕掛けた。
その昆虫が別の花の雌しべ
にとまると、体に付いた花
粉は雌しべと受粉する。
受粉を助ける昆虫を「あ
り地獄」に落として手玉に
とるとは。「花」の概念を
くつがえす花の威厳ととも
に、パフィオは「ランの頂
点」に君臨するにふさわし
い。

パフィオの花

もり いく え 郁 恵 森

2011.2.18

2011年2月18日 1面 No.6